

新

年あけましておめでどうござい
ます。皆様には希望に満ちた健
やかな新春をお迎えになったことお
慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月に発生
した東日本大震災により甚大な被害に
遭いました。奈良県でも9月に発生し
た台風12号による土砂災害で多くの方
が犠牲となりました。心から哀悼の
意を表するとともに、今なお避難生活
をされている皆様にお見舞い申し上げ
ます。

平成24年は「古事記」が完成して
1300年という節目の年にあたります。
このため県では「日本書紀」完成
より1300年となる平成32年までの
9年間を「記紀・万葉プロジェクト」
と位置づけ「本物の古代と出会い、本
物を楽しめる奈良」の実現に取り組み
れます。本町は古事記編纂者である太
安万侶の生誕地と言われており、ゆか
りの多神社など魅力的な歴史素材も豊
富に存在します。これらを活用し、県・
関係他市町村とも連携を取りながら、
「古事記のふるさと田原本」を実感で
きる事業展開を図ってまいります。

我が国では、毎年首相が交代し、尖
閣諸島、北方四島、竹島の主権侵害が
公然と行われる中、平成24年は米国、
露国、中国、韓国、北朝など世界で大
統領選挙、政権移行が行われる予定で
す。日本を取り巻く世界の政治状況は

大きく変化の年を迎えます。またEU
での債務不履行が懸念される中、我が
国の経済面においても円高、株安、デ
フレ状態が続き、産業の空洞化など雇
用の悪化、TPPへの参加問題など難
問が山積している状況です。

このような状況下、町行財政を取り
巻く環境は厳しいものがありますが、
急進する少子化、本格的な長寿社会へ
の対応、教育の充実や防災体制の強化
をはじめ、住民の安全・安心な暮らし
の確保、健康づくりと福祉の充実など、
多様な住民要望と時代の要請に的確に
応えていかねばなりません。

本町の玄関口である近鉄田原本駅の
周辺整備は、駅前広場を核とした駅周
辺再開発に取り組んでいかねばなりま
せん。駅西側だけではなく東側も含め
た、駅周辺の「まちづくり」を総合的
に考えてまいります。都市計画の見直
しを行った地域等への企業誘致に向け
周辺の社会資本整備にも力を注いでま
います。京奈和自動車道の一般道部
分が供用開始されれば、産業・交流系
の新たな都市機能を形成でき、駅前周
辺整備された中心市街地をつなぐ交流
機能を持った、沿道利用型の市街地形
成を進めていきたいと考えています。

また、唐古・鍵遺跡は史跡公園とし
て平成29年度の完成を目指します。新
清掃工場については、御所市、五條市
との広域行政を目指し、早期の稼働に

向け取り組んでまいります。

今後、地方分権の推進、少子高齢化、
住民意識・生活様式の多様化など、取
り巻く環境が大きく変化する中、時代
の要請に応じた行政活動を行うために
は、行政の在り方・役割分担を考え、
自立できる財政基盤の確立を図るとと
もに、簡素・効率的で持続可能な行政
運営に取り組む必要があります。同時
に田原本町の明日を担う子ども達に負
担を先送りすることなく、住民ニーズ
の多様化・高度化に合わせた的確な対
応、住民満足度の向上など、地域の様々
な課題を自主的・主体的に解決し、魅
力ある「まちづくり」に向け、職員共々
公正・公平な町政運営に取り組んでま
います。

町民の皆様には、さらなるご理解
ご協力賜りますようお願いいたします
とともに、本年が皆様にとりましてご
健康で幸多い年でありますことを祈
念申し上げます、年頭の挨拶といたします。

**明日を担う子ども達に負担を先送り
することなく、地域の様々な課題を
自主的・主体的に解決し、魅力ある
「まちづくり」を**

田原本町長 **寺田 典弘**



新年のごあいさつ

あ

けましておめでとうございませう。希望と復興に向けた平成24年のスタートにあたり、町議会を代表し、謹んでご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、平素より町議会の活動に深いご理解と格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私自身、議長として7回目の新年を迎えました。昨年には、町村議会の全国的連合組織である全国町村議会議長会副会長の重責も担うこととなり、地方自治の振興・発展への取り組みや政府・国会に対し要望活動等を行うなかで、宮城県南三陸町を訪ねる機会がありました。歴史上かつてない大津波に襲われた町の姿を目の当たりにし、心が痛みました。私は、東日本大震災や本県南部地域をはじめとする台風12号15号の集中豪雨による被災地では、被災の傷跡が大きく残る中で心安まらぬ日々を過ごされている方がおられることに、心からお見舞いを申し上げますと同時に、明るい未来のため、安らぎのもてるまちづくりの実現に向け、改めて身の引き締まる思いを致しております。

さて、サッカーなどでシジャパンが女子ワールドカップで初優勝という快挙を成し遂げた昨年を振り返りますと、効果的に進まない被災地の復旧・復興、震災による福島原子力発電所事故への対応状況が毎日報道され、また、

震災の影響に加え、電力供給の制約や急速な円高が心配される経済状況の中で、政局もが混乱する厳しい1年ではなかったでしょうか。そのような状況の下で誕生した野田政権には、内閣自身が最重要課題と位置づける大震災からの復旧・復興、原発事故の収束、日本経済の立て直しについて、大きな前進を期待するところです。

一方、本町の昨年を振り返りますと、皇太子殿下におかれては、11月21日に本町へ行啓になられ、唐古・鍵考古学ミュージアムをご視察されました。私達町民にとっては誠に光栄なことであり、唐古・鍵遺跡の重要性を再認識させられたところで、議会でも検討中の史跡公園整備について、十分な議論と研究を重ね、魅力ある事業推進に繋げて参りたいと考えています。また昨年、御所市と新清掃工場整備のための一部事務組合を設立し、建設に向けて歩み始めたところ、五條市から本組合への加入の申し入れがありました。町議会では、五條市の加入について、当初憂慮していた問題も含め議論を重ねた結果、大震災復興財源確保のため、財源である国の補助率が減額されたこと、構成自治体の増加により一層の負担軽減が図れること等のメリットを総合的に精査し、最終的に本町と御所市、五條市の3市町で建設に向け取り組むことを決定したところであります。

このように議会で具体的な検討が進められている事業はもとより、町政が抱える課題は多岐にわたるとともに、より複雑化しながらますます増大しています。これら課題の解決に向け、町との密接な連携のもと、議会の使命である「具体的な政策の最終決定」「行財政運営の批判と監視」を基本として審議を深めて参ります。

町議会では、近年、定例会の一般質問や議員提案が増加するなど、議会が活性化傾向にあります。本年も、議会の活性化について研究しながら、議員一同、町民の皆様の意見も反映し、全力で取り組んで参ります。皆様の更なるご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

年頭に当たり、今年が明るく良い年になりますよう、また、皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

町との密接な連携のもと、議会の使命である「具体的な政策の最終決定」「行財政運営の批判と監視」を基本として審議を深めて参ります

田原本町議会議長 **松本 宗弘**

